

# 中日ニュース

シネスコ版

No. 598

40.7.2

## 一、夏山シーズン来る

— 東京・群馬 —

今年も夏山シーズンの到来と共に若者達は山へ山へと駆りたてられます。

最近の登山人口の増加は、また遭難遺族の人口増加となつて現われます。夏山遭難の原因は、その多くが基礎体力がつくられていないことと山に対する知識の欠如からといわれているのです。

そこで、遭難防止の一助にと開かれたのがある山岳連盟主催の天気図の読み方講習会。また、大学の山岳部では夏山行きにそなえての体力づくりに専念しています。

この普段の練習が遭難の悲劇を未然に防ぐ安全弁となります。

ここ谷川岳の銀座通りは、今年も大盛況。

山に登るには、まず免許証ならぬ登山計画書が必要、それすら提出しないバーティ……登山は健康ながらだと緻密な計画そして慎重な行動と基本的なルールを守ることが遭難防止にとつて第一条件となるのです。

## 一、造成宅地この悲劇

— 川崎生き埋め事件 —

梅雨降り続いた六月二十六日夜、神奈川県、川崎市北部の新興住宅で土砂崩れがあり、住家十五戸を押し流し、住民五十九人をひとりにして死者二十四人負傷十五人という大惨事となりました。

374  
614

聞聞  
新日  
東中  
新日  
新日

240  
升

制作・配給

違法の急造宅地と無責任な石炭灰廃棄が重なったこの惨事は、家のない大方の都市生活者が、住宅という基本的な憩の場さえおびやかされている過密都市の問題を知らせるには余りにも大きな代償を払ってしまった悲劇となつたのです。